

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2005-345087(P2005-345087A)
 【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)
 【年通号数】公開・登録公報2005-049
 【出願番号】特願2004-197447(P2004-197447)
 【国際特許分類】

F 2 8 D 7/00 (2006.01)

F 2 8 D 7/02 (2006.01)

【F I】

F 2 8 D 7/00 A

F 2 8 D 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月18日(2006.8.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

螺旋コイル形状に成形した複数本の銅管7、8を、交互に配して互いに当接させて積層し、流体を交互に流通させて熱交換を行うコイル管積層式熱交換器の製造方法であって、当接する銅管7、8をろう付けして接合することを特徴としたコイル管積層式熱交換器の製造方法。

【請求項2】

請求項1に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法であって、当接する銅管7、8の間に、銅管7、8に適合した曲率の円弧状に形成したろう棒10を頂部に設置することを特徴としたコイル管積層式熱交換器の製造方法。

【請求項3】

請求項1に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法であって、当接する銅管7、8の間にペースト状ろう材を頂部に塗布することを特徴としたコイル管積層式熱交換器の製造方法。

【請求項4】

外周に間隔を隔てて複数本のバンド12で銅管7、8を締結する請求項1、2又は3に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法は、螺旋コイル形状に成形した複数本の銅管7、8を、交互に配して互いに当接させて積層し、流体を交互に流通させて熱交換を行うコイル管積層式熱交換器の製造方法であって、当接する銅管7、8をろう付けして接合することを特徴とするものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、請求項2に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法は、当接する銅管7、8の間に、銅管7、8に適合した曲率の円弧状に形成したろう棒10を頂部に設置することを特徴とするもので、請求項3に記載のコイル管積層式熱交換器の製造方法は、当接する銅管7、8の間にペースト状ろう材を頂部に塗布することを特徴とするものである。